

2021 年度大阪府における光化学スモッグ緊急時発令等の状況について

1 光化学スモッグ緊急時発令の状況

2021 年度は、光化学スモッグ予報 3 回、注意報 1 回の発令を行いました。予報・注意報の発令回数は、過去 10 年の平均的な回数（予報 7.0 回、注意報 4.8 回）と比べ少ない回数となりました（図 1、2）。

最も早い発令日は、6 月 8 日(予報第 1 号)で、最も遅い発令日は、7 月 31 日(予報第 3 号、注意報第 1 号)でした（表 1）。

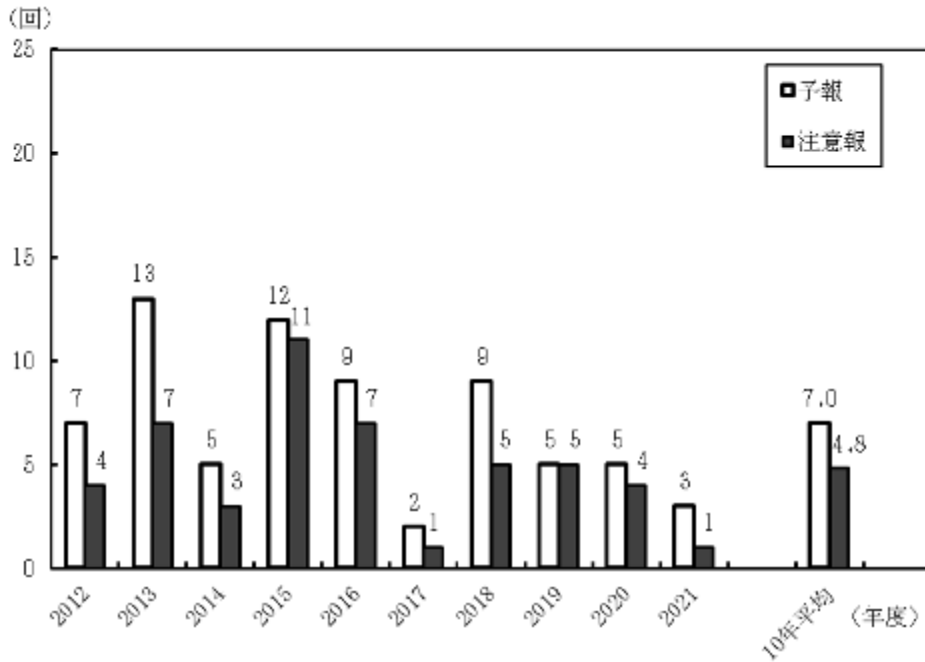


図 1 光化学スモッグ予報・注意報発令回数の推移



図 2 発令地域区分・地域別注意報発令回数（○の中の数字が発令回数）

表1 オキシダント緊急時等の発令状況

発令月日	発令号数		発令時刻	解除時刻	発令時間	発令地域				最高濃度 (ppm)
	予報	注意報								
6.8(火)	1		13:00	18:00	5:00		3			0.126
6.21(月)	2		15:00	17:00	2:00		4			0.114
7.31(土)	3		13:10	15:30	2:20		4	6		0.121
		1	13:30	15:30	2:00		4	6		

## 2 被害の訴えの状況

2021年度における光化学スモッグによると思われる被害の訴えの届出はありませんでした。

## 3 気象の概況

6月は太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、梅雨前線が南海上に離れて停滞したため、高気圧に覆われる日が多く、オキシダント濃度が高くなる日がありました。7月上旬から中旬にかけては梅雨前線が日本付近に停滞し曇や雨の日が多くなりました。7月下旬から8月上旬にかけては太平洋高気圧が勢力を強めて広く西日本を覆ったため、晴れて気温が高くなる日が多くなり、注意報基準を超える日がありました。8月中旬から下旬にかけてはオホーツク海高気圧が南に偏って張り出し、太平洋高気圧との間に前線が発生して停滞しました。このため曇や雨の日が多く、平年に比べ日照時間は少なくなり、最高気温も低くなったことから、オキシダント濃度はあまり上昇することがありませんでした。

表2 気象項目の平年値との比較

観測地点	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
大阪管区気象台 (注1)	日最高気温の月平均(°C)	本年	20.8	24.1	28.5	32.5	32.3	28.7	25.0
		平年(注2)	19.9	24.9	28.0	31.8	33.7	29.5	23.7
	総日照時間(時間)	本年	221.2	169.9	173.6	191.0	165.2	124.9	203.1
		平年(注2)	192.6	203.7	154.3	184.0	222.4	161.6	166.1
	日降水量が1.0mm以上の日数(日)	本年	7	15	8	9	11	12	6
		平年(注2)	9.2	9.5	11.3	10.0	7.2	9.5	8.3
	月平均風速(m/s)	本年	2.6	2.4	2.0	2.2	2.4	2.3	2.2
		平年(注2)	2.6	2.3	2.5	2.4	2.7	2.6	2.5
	平均雲量(10分比)	本年	6.3	7.8	8.2	7.8	8.0	8.2	5.6
		平年(注2)	6.5	7.1	8.3	7.8	6.9	7.2	6.4

(注1) 大阪管区気象台の値は、気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」より得たものである。

(注2) 平年値は1991年から2020年の30年間の平均値